

事業報告書

平成29年度

社会福祉法人 慈協会

特別養護老人ホームサニーヒル
特別養護老人ホームサニーヒル ユニット
デイサービスセンターサニーヒル
ショートステイサービスサニーヒル
サニーヒル居宅介護支援センター
地域包括支援センターブランチサニーヒル

平成 29 年度事業報告

施設長 岡寄 圭次郎

平成 29 年度の各事業部門の稼働状況につきましては、従来型特養は延べ利用人数 18,709 名（前年 18,439 名）で 270 名の増加、またユニット型特養は延べ利用者人数 14,251 名（前年 14,413 名）で 162 名の減少となりました。ユニット型特養の減少の要因としては、長期入院の方が多く、またそれら空床の積極的な利用の面で改善の余地があったことなどが挙げられます。ショートステイサービスは延べ利用人数 14,432 名（前年 13,655 名）で 787 名の増加、一方デイサービスについては延べ利用人数 3,097 名（前年 3,207 名）で 110 名の減少となりました。これは競合する施設の増加も原因の一つと考えられます。また居宅介護支援事業所は利用者数 1,329 名（前年 1,275 年名）で 54 名の増加となりました。以上纏めますと、ユニット型特養・デイサービスは、前年より減少、従来型特養・ショートステイ・居宅介護支援事業所は、前年より増加の結果となりました。今後はユニット型特養の空床利用の徹底化と共に、デイサービスの、現行のリハビリ体操・カラオケ・陶芸に加えて、脳トレ・習字の再開、更に絵画・音楽・映画など芸術面での強化特異化を図っていく所存です。

月に 1 回開催している運営委員会・経営会議で、理事長、施設長、幹部職員を始め、主要職員が定期的に話し合うことで意識改革を図り、稼働率の向上やコスト削減といった改善効果が現れ、今年度もお陰様で黒字決算とすることができました。引き続き平成 30 年度に於いても、箍を緩めず、サニーヒルの運営・経営の改善を行っていく所存です。

施設整備面では、A 棟の雨漏りの営繕・2A の空調一部の入れ換えを行いました。また送迎車両 1 台を購入し、リニューアルしました。

経営課題の一つとしての、慢性的な人員不足に対しては、人手が足りない時の事務職員の介護業務へ応援など、工夫して対応しております。また引き続きの求人活動は基より、平成 30 年度以降は毎年 6 人の新卒職員の採用を目指して、関連の高校・専門学校の定期的な訪問を予定しています。更に近隣地区ではトップの職員待遇を目指して、離職率を低下するなど、ありとあらゆる手段を尽して今後も有能な人材確保に努めて参ります。

最後に、事故や災害等特に無く、平成 29 年度事業が滞り無く遂行することができましたのも、理事及び評議員各位の経営に対するご意見やご協力、また行政関係各位のご指導、更には地域の皆様方のご理解の賜物であり、心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。

I. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル）

平成29年度の入所者は14名（28年度20名）、退所者は14名（28年度19名）となっている。入所者の平均要介護度は3.5と、全国平均値と等しい数字である。

利用者の入所経緯としては、在宅からが12名（うちサニーヒルショートステイ利用者2名、他2名）、病院からが2名と、在宅からの入所が多くなっている。

また、病院への入院中に体力や認知症が悪化し、退院が決まったもののその後に、自宅での介護が困難となり、次の生活の場を特別養護老人ホームで考えていると、入所希望の問い合わせが多くなってきているため、特養の空きが無い場合はサニーヒルのショートステイ利用を勧めるなどし、お待ち頂くこと無く退院後の介護サービスを提供出来るよう尽力した。

要介護度別の状況

平成30年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	1	2	2	3	9
女（人）	2	3	14	12	12	41
実数（人）	2	4	17	14	15	52
割合（％）	4%	7%	33%	27%	29%	100%

平成28年度及び平成29年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成28年度（人）	53	53	52	52	52	52	51	52	52	55	53	54
平成29年度（人）	54	53	52	52	54	52	51	52	53	54	53	53

平成28年度及び平成29年度利用日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度（日）	1,481	1,525	1,531	1,577	1,592	1,489	1,530	1,529	1,605	1,556	1,438	1,586	18,439
平成29年度（日）	1,553	1,608	1,560	1,610	1,602	1,536	1,572	1,559	1,600	1,606	1,455	1,601	18,862

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅠの判断基準は、何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している状態。ランクⅡは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態。ランクⅢは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態。ランクⅣは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態。ランクⅤは著しい精神症状や問題行動が見られ、専門医療を必要とする状態が判定基準である。提供されるサービスの例としてはランクⅢより短期入所生活介護・通所介護の必要性があり、ランクⅣにおいては、介護保健施設の利用が適当と判断される。なお、ランクⅤの段階では専門医療機関(精神科)の受診が必要となる。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅠに属する利用者は0名で、ランクⅡに属する利用者は1名、ランクⅢも30名、ランクⅣの自立度に位置する利用者が21名(3月31日現在)となっている。

平成30年3月31日現在

区分	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	0	5	0	3	0	8
女(人)	0	0	1	20	5	18	0	44
実数(人)	0	0	1	25	5	21	0	52
割合(%)	0%	0%	2%	48%	10%	40%	0%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅥは何らかの身体障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者が該当。ランクⅦは「寝たきり」に分類され、「寝たきり予備軍」ともいうべきグループであり、いわゆるhouse-boundに相当する。ランクⅧは「寝たきり」に分類されるグループであり、いわゆるchair-boundに相当する。ランクⅨはランクⅧ同様「寝たきり」に分類されるが、ランクⅧより障害の程度が重い者のグループであり、bed-boundに相当する。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅥに属する利用者が0名、Ⅶが12名、Ⅷが14名、ランクⅨが最も多く26名(3月31日現在)となっている。

平成30年3月31日現在

区分	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅸ	合計
男(人)	0	0	0	3	1	0	3	1	9
女(人)	0	0	0	9	4	9	7	15	41
実数(人)	0	0	0	12	5	9	10	16	50
割合(%)	0%	0%	0%	23%	10%	17%	19%	31%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

平成30年3月31日現在

区 分		入所者数	入 所 期 間				
			～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	1	0
	計	1	0	0	0	1	0
65～ 69歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	1	0	0	0
	計	1	0	1	0	0	0
70～ 79歳	男	1	0	0	1	0	0
	女	8	4	1	2	1	0
	計	9	4	1	3	1	0
80～ 89歳	男	5	1	2	1	1	0
	女	17	2	4	2	2	6
	計	22	3	6	3	3	6
90歳～	男	2	0	2	0	0	0
	女	17	2	4	3	1	7
	計	19	2	6	3	1	7
合 計	男	8	1	4	2	1	0
	女	44	8	11	7	5	13
	計	52	9	15	9	6	13
平均年齢 男性82.78歳 女性86.21歳 総数85.69歳							
平均入所期間 男性1年7ヶ月 女性2年10ヶ月 総数2年8ヶ月							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	31
木更津市	介護保険利用者	10
市原市	介護保険利用者	7
君津市	介護保険利用者	2
千葉市	介護保険利用者	1
船橋市	介護保険利用者	1

I. ユニット型介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル ユニット）

ユニット特養は平成25年5月にオープンし、平成29年度内に入所された方は10名、退所者は10名であり、入所経緯は、在宅からが1名、障害者福祉施設からが2名、介護老人福祉施設からが4名、病院からが3名であった。

在宅介護の継続が困難となり入所を申し込まれる方が多いことは既存特養と同じであるが、今年度は障害者福祉施設と病院から入所されるケースが多くなっている。

待機者については在宅よりも退院後の受入れ希望や、障害者福祉施設からの事例が多くなっている。

要介護度別の状況

平成29年3月31日現在						
区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	1	0	2	6	4	13
女（人）	2	5	6	7	7	27
実数（人）	3	5	8	13	11	40
割合（％）	7.5%	12.5%	20.0%	32.5%	27.5%	100%

平成28年度及び平成29年度利用人数比較

平成28年度	1,173	1,192	1,194	1,192	1,221	1,200	1,236	1,200	1,240	1,229	1,119	1,217	14,413
平成29年度	1,200	1,237	1,194	1,220	1,233	1,194	1,239	1,181	1,213	1,230	1,102	1,239	14,482

平成28年度及び平成29年度月別稼働率比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	97.8%	96.1%	99.5%	96.1%	98.5%	100.0%	99.7%	100.0%	100.0%	99.1%	99.9%	98.1%	98.7%
平成29年度	100.0%	99.8%	99.5%	98.4%	99.4%	99.5%	99.9%	98.4%	97.8%	99.2%	98.4%	99.9%	99.2%

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の認知症高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅠに属する利用者が0名、ランクⅡは19名、ランクⅢが15名、ランクⅣが6名、ランクⅤが0名(30年3月31日現在)となっている。

28年度と比較すると若干ではあるがランクⅡaが増えⅢaが減少している。
今年度にご利用者の入れ替わりが10名あり、多少幅広くなった様子が窺える。
その分利用者一人ひとりにきめ細かいケアが必要であることはもちろんのこと、効率のよい介護サービスが必要不可欠である。

区分	正常	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	0	4	3	4	2	0	13
女(人)	0	0	2	13	7	1	4	0	27
実数(人)	0	0	2	17	10	5	6	0	40
割合(%)	0.0%	0.0%	5.0%	42.5%	25.0%	12.5%	15.0%	0.0%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の障害高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅥに属する利用者は2名、Ⅵaが12名、Ⅵbが17名、ランクⅦが9名(30年3月31日現在)となっている。

特徴としては、ランクⅥaの利用者が30.5%と、歩行が可能な方が多く、そのために転倒のリスクも高いことから、こまめな見守り、一部介助が必要となる。また、ランクⅥbの利用者も43%と最も多く、日中はベッド、食事・排泄はベッドから離れて行う細やかなケアをしていかなければならない。また、移乗等も含め利用者の安全確保を第一としながらも、安全を求めるあまりに干渉しすぎて生活自立度を下げる事にならないよう、利用者の行動意欲を引き出す日々の介護サービスが今後も必要である。

区分	Ⅵ1	Ⅵ2	Ⅵa1	Ⅵa2	Ⅵb1	Ⅵb2	Ⅶ1	Ⅶ2	合計
男(人)	0	0	0	2	1	7	1	2	13
女(人)	0	2	9	1	3	6	2	4	27
実数(人)	0	2	9	3	4	13	3	6	40
割合(%)	0%	5%	22.5%	8%	10.0%	33%	7.5%	15.0%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

平成30年3月31日現在

区 分		入所者数	入 所 期 間				
			～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	1	1	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	0	0	0	0
65～ 69歳	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
70～ 79歳	男	3	1	1	0	0	1
	女	6	1	0	0	2	3
	計	9	2	1	0	2	4
80～ 89歳	男	5	0	0	1	3	1
	女	14	4	2	2	2	4
	計	19	4	2	3	5	5
90歳～	男	4	1	0	0	1	2
	女	7	0	1	0	1	5
	計	11	1	1	0	2	7
合 計	男	13	3	1	1	4	4
	女	27	5	3	2	5	12
	計	40	8	4	3	9	16
平均年齢 男性83.86歳 女性85.70歳 総数85.05歳							

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	22
木更津市	介護保険利用者	7
市原市	介護保険利用者	6
君津市	介護保険利用者	1
栃木県佐野市	介護保険利用者	1
千葉市	介護保険利用者	1
世田谷区	介護保険利用者	1
横浜市	介護保険利用者	1

Ⅱ．短期入所事業（ショートステイ）

総括

平成29年度の稼働率は98.8%(前年比6ポイント増)、利用延べ人数では14,432人(前年比777人増)であり、前年度を大きく上回った。

11月から1月は、稼働率が下がったが徐々に稼働率は上がった。

要因としては、協力病院を始め、居宅支援事業所から継続的に利用者の紹介を頂けたため、昨年度より大幅に上回ったと考えられる。また、利用されている方が入院された際の空きベッドを他の方に利用して頂いた事も稼働率が上がった要因として考えられる。相談のケースを分析すると、ご家族の就労による在宅での介護が困難なケース・高齢者が疾病や怪我等で入院したため退院後に急に介護が必要となったケース・介護する側が体調を崩し介護が継続的にできなくなったケース等が挙げられ、通所介護サービスを利用される方が、ショートステイサービスメインの利用に切り替えられたことが昨年と同様に考えられる。

今後も、各居宅支援事業所のケアマネジャー宛に定期的な空き状況のお知らせをすることはもとより、入院等で予期せず空きベッドが生じた場合は、その都度電話、メール、FAXを駆使し、こまめに外部のケアマネジャーに通知していき、空きベッドを有効に活用し稼働率の落ち込みを防ぎ、安定した稼働の確保に努めていく。

<年間利用状況集計>

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

利用人数	570人
利用延人数	14,432人(1日平均39.9人)
稼働床数	14,460床(1日40床×365日)
稼働率	98.8%
一人あたりの 月間利用日数	25.3日

<月別利用状況>

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数(人)	47	49	46	50	47	48	50	45	48	48	45	47	570
利用日数(日)	1,142	1,208	1,146	1,226	1,234	1,200	1,253	1,192	1,216	1,236	1,125	1,254	14,432
稼働率(%)	95.2	97.4	95.5	98.9	99.5	100.0	101.0	99.3	98.1	99.7	100.4	101.0	98.8

※本頁中の人数及び利用者数は、予防給付・介護給付を合算したもの

シヨートステイ要介護度別の状況

4月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	5	11	14	12	5	47
割合 (%)	0.0	0.0	10.6	23.4	29.8	25.5	10.6	99.9

5月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	4	11	16	12	6	49
割合 (%)	0.0	0.0	7.8	21.6	32.7	24.5	12.2	98.8

6月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	2	13	15	12	4	49
割合 (%)	0.0	0.0	4.4	28.3	32.6	26.1	8.7	100.1

7月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	4	12	17	12	5	48
割合 (%)	0.0	0.0	8.0	24.0	34.0	24.0	10.0	100.0

8月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	6	9	17	10	5	53
割合 (%)	0.0	0.0	10.9	19.6	37.0	21.7	10.9	100.1

9月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	6	10	16	12	4	53
割合 (%)	0.0	0.0	12.5	20.8	33.3	25.0	8.3	99.9

4月～9月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	27	57	95	75	66	299
割合 (%)	0.0	0.0	28.8	18.6	24.5	24.5	21.6	118.0

10月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	5	9	17	13	6	53
割合 (%)	0.0	0.0	10.0	18.0	34.0	26.0	12.0	100.0

11月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	4	9	14	11	7	53
割合 (%)	0.0	0.0	8.9	20.0	31.1	24.4	15.6	100.0

12月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	4	11	14	12	7	53
割合 (%)	0	0.0	8.3	22.9	29.2	25.0	14.6	100.0

1月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	4	10	16	12	6	53
割合 (%)	0.0	0.0	8.3	20.8	33.3	25.0	12.5	99.9

2月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	3	9	14	14	5	50
割合 (%)	0.0	0.0	6.7	20.0	31.1	31.1	11.1	100.0

3月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	4	9	16	12	5	50
割合 (%)	0	0.0	8.7	19.6	34.8	26.1	10.9	100.0

10月～3月計

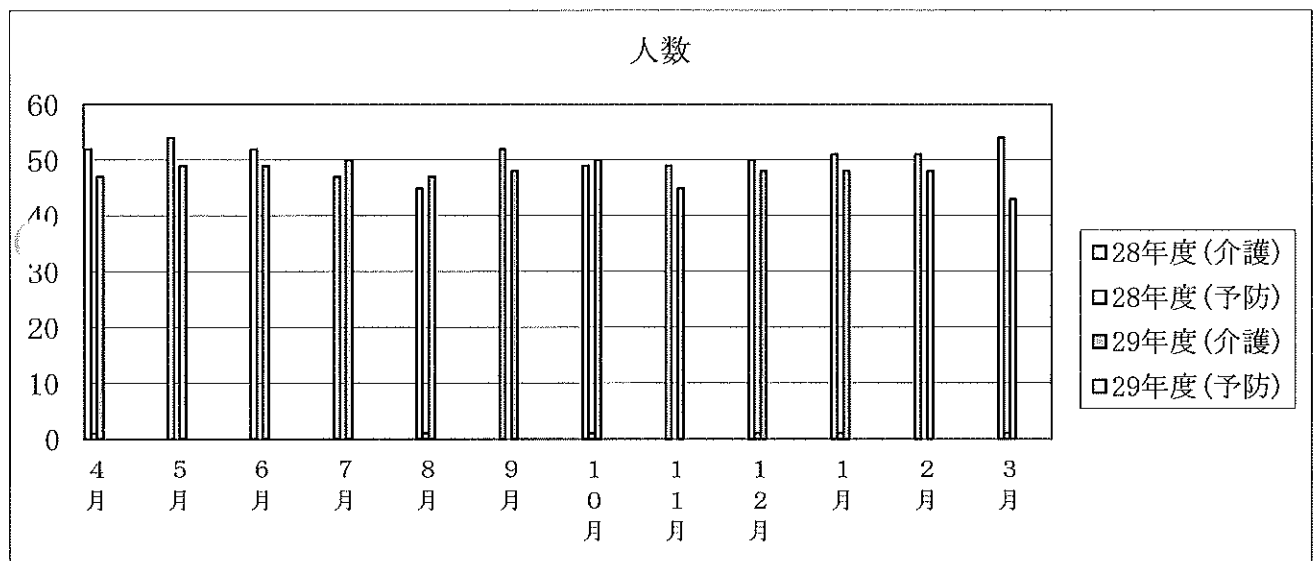
区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	24	57	103	74	36	294
割合 (%)	0	0.0	5.1	19.0	31.1	25.3	19.5	100.0

4月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数 (人)	0	0	51	112	178	140	102	583
割合 (%)	1.0	0.0	10.4	18.1	28.8	22.6	19.1	100.0

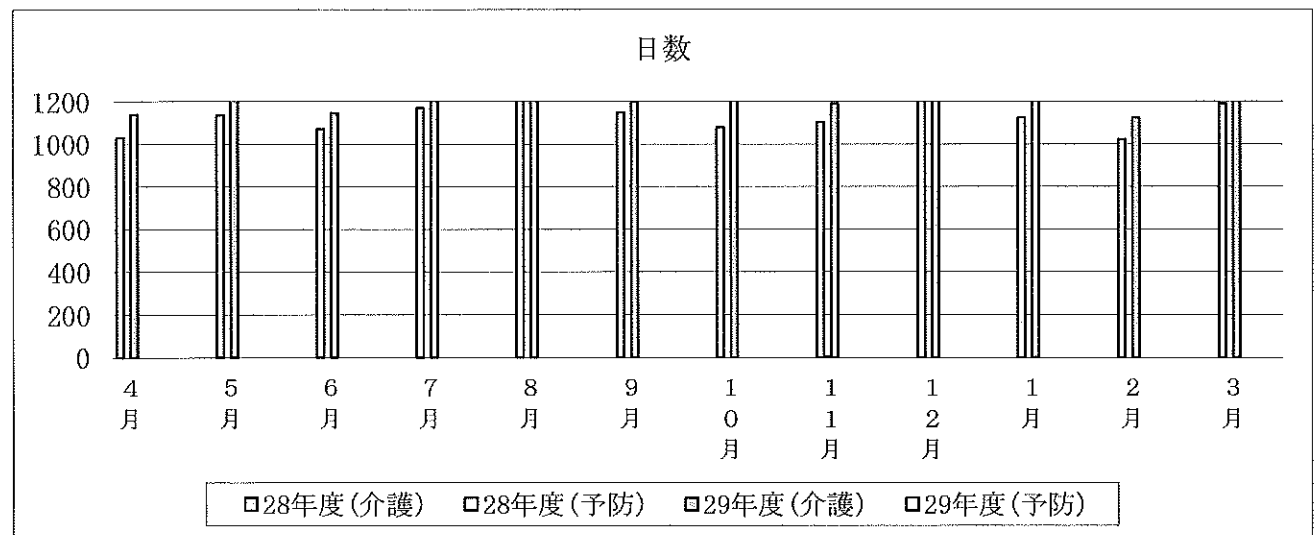
■平成28年度及び29年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度(予防)	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	1人	6人
28年度(介護)	52人	51人	49人	48人	52人	53人	52人	53人	52人	52人	50人	50人	614人
29年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
29年度(介護)	47人	49人	46人	50人	47人	48人	50人	45人	48人	48人	45人	47人	570人
28年度/29年度	105.8%	101.8%	104.0%	108.5%	117.7%	90.3%	106.1%	106.1%	96.0%	94.1%	94.1%	79.6%	100.3%



■平成28年度及び29年度利用延べ日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度(予防)	1日	0日	0日	0日	1日	0日	1日	0日	1日	1日	0日	1日	6日
28年度(介護)	1073日	1138日	1073日	1170日	1231日	1151日	1082日	1104日	1220日	1126日	1024日	1199日	13591日
29年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
29年度(介護)	1142日	1208日	1146日	1226日	1234日	1200日	1253日	1192日	1216日	1236日	1125日	1254日	13027日
28年度/29年度	107.1%	106.6%	104.5%	99.9%	102.8%	95.4%	100.4%	107.2%	104.8%	106.8%	106.1%	100.4%	103.5%



Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

総括

平成29年度のデイサービスの稼働実績・利用人数は、予防通所介護（要支援者）・通所介護（要介護者）合算で利用人数が445名（前年度比7名増）、延べ利用人数は3,081名（前年度比126名減）であった。

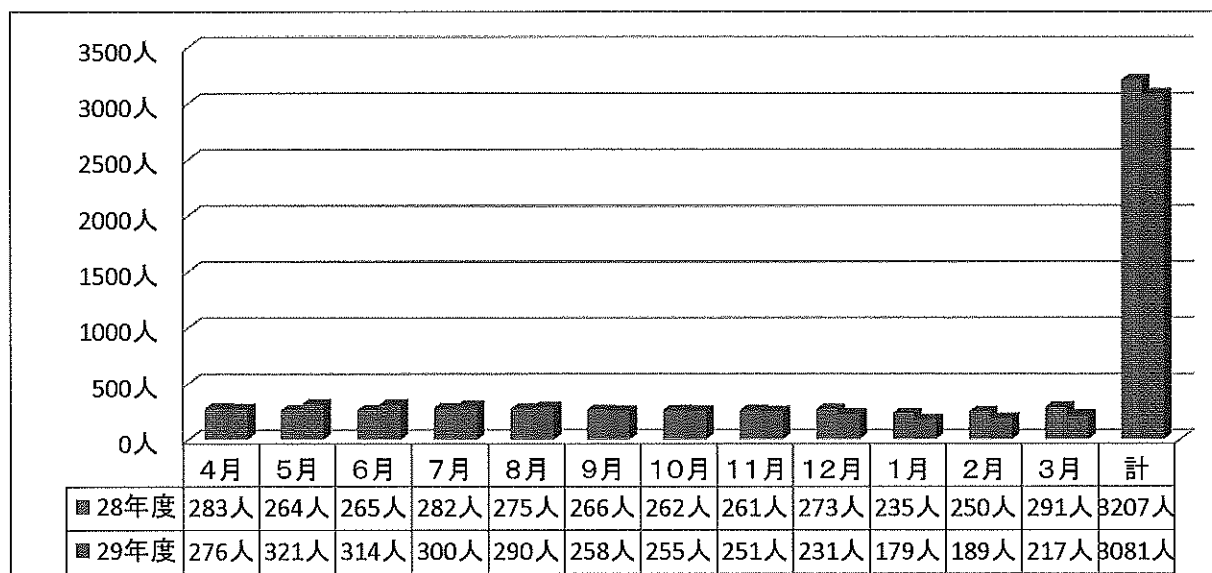
利用率は前年度から比較すると95.9%と4.1%下回り、稼働率は51.7%から49.6%と2.1%下回った。

要因として、デイサービスからショートステイ等への利用の移行や、利用者の体調不良・病院への入院により利用者の利用が少なくなっている事が挙げられる。

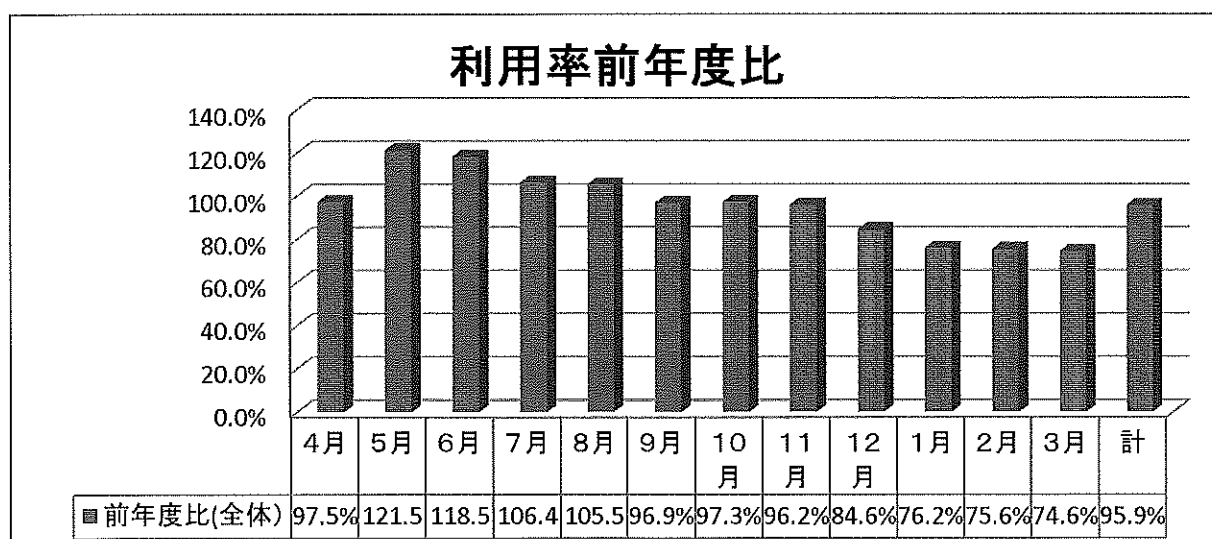
利用者からはデイサービスでのサービス提供に対しては、不満の声は聞かれておらず、また利用している方の継続率は高いがショートステイへの移行や、体調不良、入院などがあり、稼働率は向上しない。

今後は外部ケアマネの事業所に多く訪問し、デイサービスの日々の取り組みなどをアピールし、デイサービス利用者の獲得を目指し、デイサービスの職員だけでなくサニーヒル全体で取り組み、意見交換を活発化させ、信頼される事業所として居宅介護支援事業所だけでなく地域から高い評価を受けられるように日々研鑽に努める。

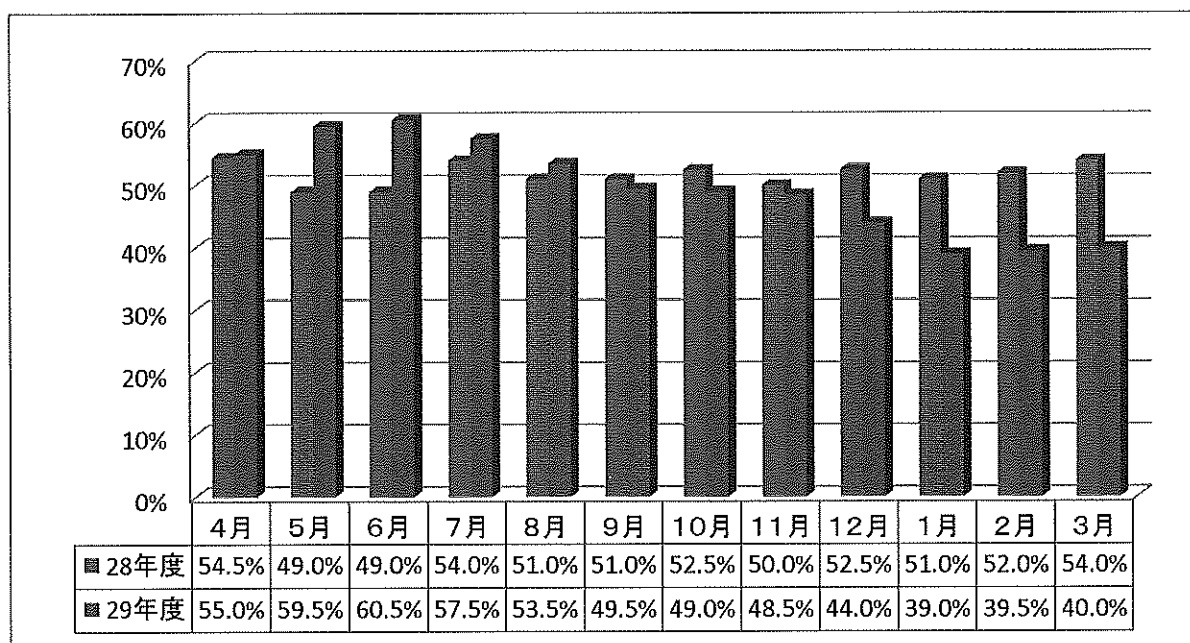
① ＜平成28年度及び29年度利用延べ人数比較＞



② ＜前年度との比較（利用率）＞



③ <平成28年度及び29年度稼働率比較>



④ <29年度要介護度状況>

介護度別利用状況

28年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	12	69	103	151	55	10	38	438
割合(%)	2.7%	15.8%	23.5%	34.5%	12.5%	2.3%	8.7%	100.0%
29年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	46	65	118	120	37	27	32	445
割合(%)	10.3%	14.6%	26.5%	27.0%	8.3%	6.1%	7.2%	100%
前年度比	383.3%	94.2%	114.6%	79.5%	67.3%	270.0%	84.2%	101.6%

介護度別利用状況の合計人数は利用者の数が昨年度よりも若干多いが、稼働率が下がっており、利用者の利用回数自体が体調不良等で減ってきている事が窺える。

要支援1の利用者がかなり多く、昨年から3.8倍も増えているため、利用人数は増えているが、介護度の高い利用者の利用が減ってきている。

稼働率は8月までは前年を上回っているが、9月より50%を切り、30年3月には40%にまで減少している。

平成29年度行事実績

	主 な 行 事	定 期 行 事	そ の 他
4月	桜見物	誕生会	
5月	鯉のぼり見物	誕生会	
6月	あやめ・あじさい見物 梅ジュース作り	誕生会	
7月	スイカ割り・流しそうめん	誕生会	
8月	夏祭り	誕生会	
9月	敬老会	誕生会	
10月	ケーキバイキング・ハロウィンゲーム大会	誕生会	
11月	焼き芋作り・紅葉ドライブ	誕生会	
12月	クリスマス忘年会	誕生会	
1月	初詣(姉崎神社)	誕生会	
2月	節分	誕生会	
3月	梅見物ドライブ	誕生会	

IV. 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）

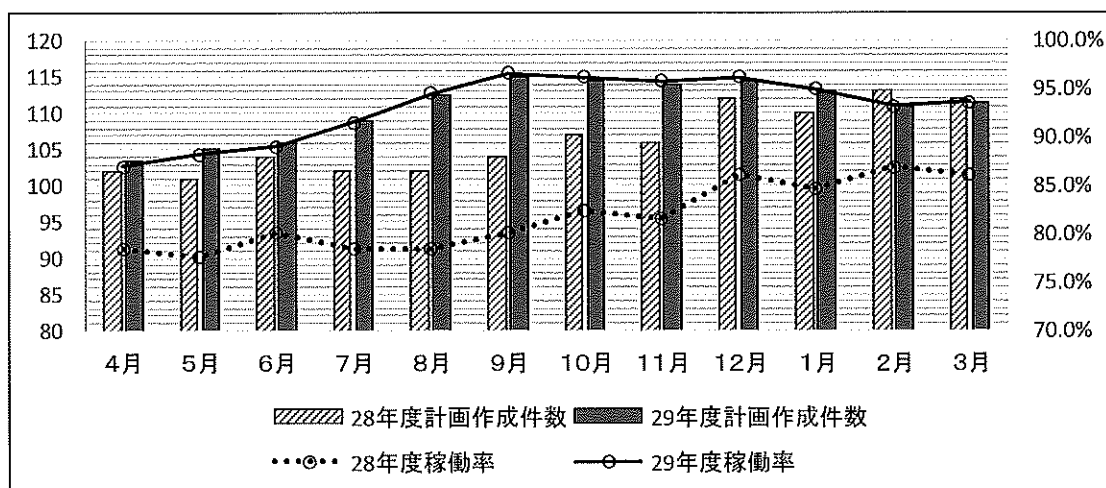
1. 利用実績

（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月の給付管理実績）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	93	95	96	98	101	104	101	101	101	99	99	98	1186
予防	21	20	20	22	23	22	27	26	27	28	24	27	287

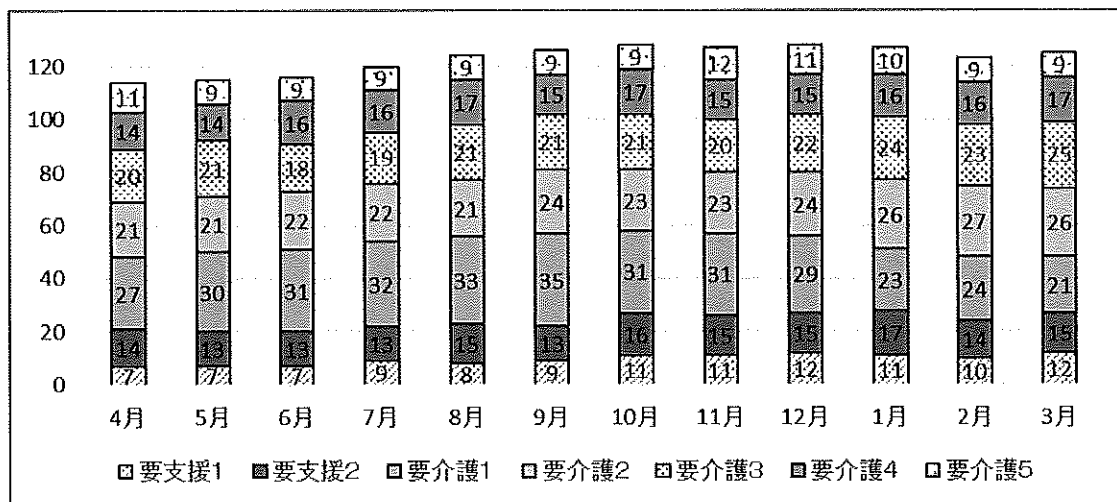
平成 29 年度の給付管理実績は介護給付 1186 件、予防給付 287 件、計 1473 件であった。総計画作成件数は、1329.5 件（※予防給付は 0.5 件で計上）で、前年度実績より 54.5 件増加。月平均は 110.8 件で、前年度より約 4.5 件増加。この結果はケアマネ各自の努力の成果といえる。年度平均稼働率は前年度実績より 11.3%ほど上回る 93.1%となっている。

30 年度は今以上に計画作成件数に着目し、件数の増加、稼働率の向上という共通目標を持ちながら新規利用者の獲得に努めていきたい。



2. 介護度別利用者推移

年度末時点で要支援者の割合が 21%、要介護 1～2 の割合が 38%、要介護 3～5 の割合が 41%となっている。



3. 要介護認定訪問調査委託事業（委託業務）

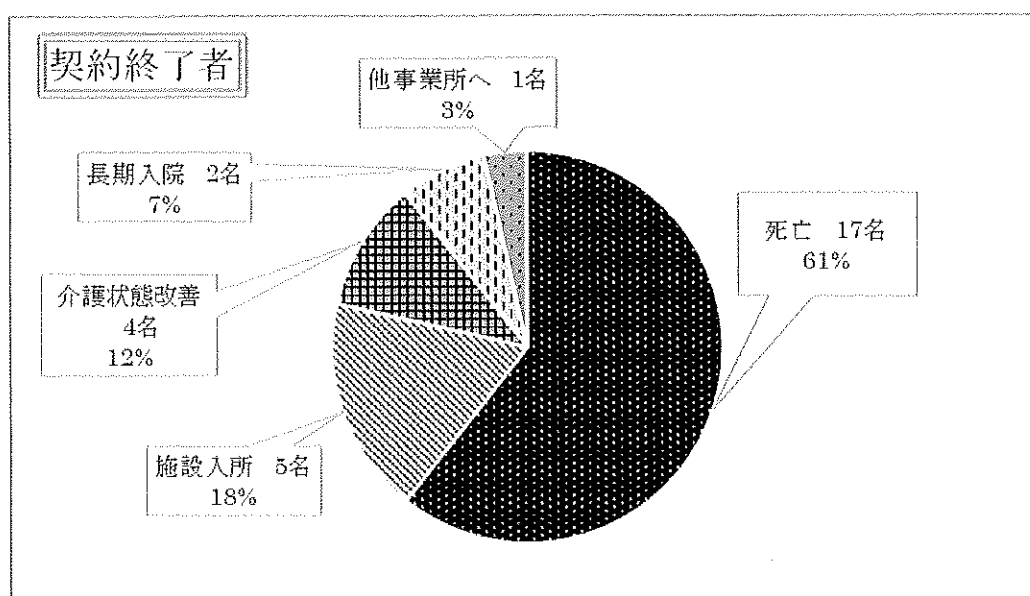
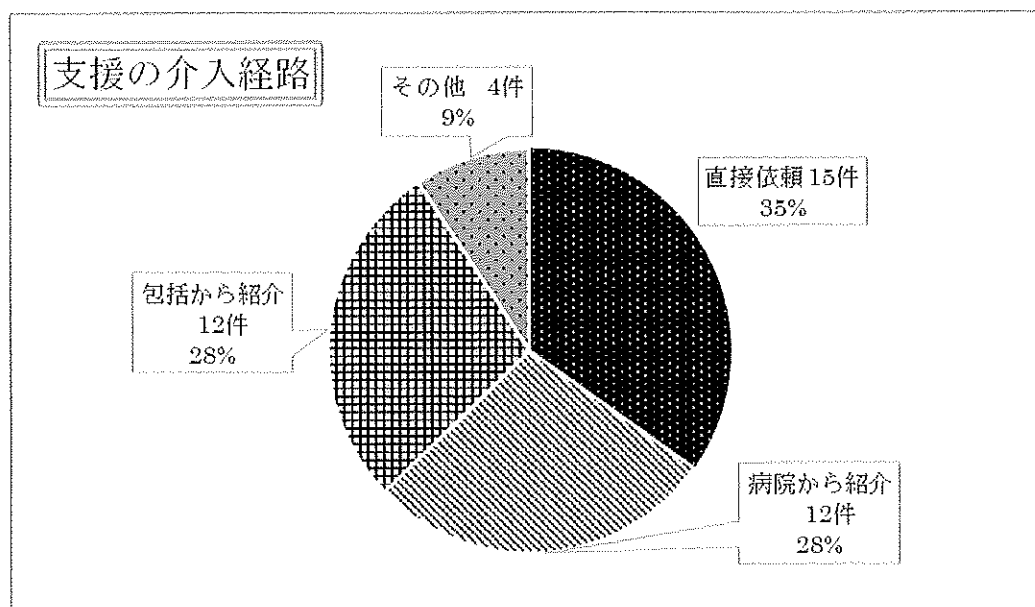
今年度の委託件数は17件であった。今後も袖ヶ浦市、他市区町村との連携の下、積極的に訪問調査を行っていききたい。

袖ヶ浦市委託件数 11件

袖ヶ浦市以外 6件

4. 新規契約者及び契約終了者について

今年度の新規契約者数は43名であった。新規介入経路の内訳はグラフの通りである。契約終了者は28名であり、その内訳としては死亡による支援終了が6割以上を占めている。



V. 地域包括支援センターのブランチ事業

29年度の実態把握件数は前年比5.4%減の263件であった。

減少した要因として、今年度は毎月一定数の訪問実態調査は出来たが、毎月もう数件ずつ多く回れなかった事、また、訪問しても留守宅が多く、時間を費やしてしまう事が挙げられる。効率よく空き時間などをうまく作り、在宅しているであろう時間帯を読み訪問し、地域包括支援センターと連携をとりつつ、高齢世帯の実態把握訪問を行い、訪問件数を増やしながら援護高齢者の発見に努めたい。

1. 相談対応実績

	実態把握訪問時	その他	計
相談対応件数 (対象高齢者数)	262	1	263

(件)

2. 相談対応実績(対応延回数)

	計	対応内容別内訳		
		電話	来所	訪問
相談対応回数(延)	263	1	0	262

(回)

※同一対象者に複数回対応した場合、それぞれを1回とカウントする。

3. 実態把握実績

	独居	高齢者複数	その他	計
新規	2	252	0	254
再訪問	1	8	0	9
計	3	260	0	※加算対象 263

(件)

※今年度に限らず過去に一度でも実態把握をしている場合は、再訪問とする。

給与栄養量

H29. 4. 1～H30. 3. 31

月	熱 量 kcal	蛋 白 質 g	脂 肪 g	カルシウム mg	ビ タ ミ ン				食 塩 g
					レチノール μ g	B1 mg	B2 mg	C mg	
H29.4	1,483	70.5	35.1	773	916	1.26	1.3	113	9.1
7	1,464	68.4	32.1	725	923	1.22	1.33	118	8.8
10	1,462	67.1	31.9	731	840	1.2	1.33	118	9
H30.1	1,450	65.5	31	715	833	1.23	1.31	123	8.5
月平均	1,465	67.9	32.5	736	878	1.23	1.32	118	8.9
摂取基準量	1,400	60	31～47	700	800	1.20	1.30	100	8

主食種類別状況

H30. 3. 31現在

区 分	流動食 (濃厚)	ミキサー食	全 粥	軟 飯	常 食	計
A・B棟	3	10	22	6	11	52名
C棟	5	4	15	5	11	40名

副食種類別状況

H30. 3. 31現在

区 分	常 食	一口大	きざみ	極きざみ	ミキサー	流動食 (濃厚)	計
A・B棟	6	10	3	18	12	3	52名
C棟	5	4	9	12	5	5	40名

入所者嗜好調査結果

平成 30 年 3 月 31 日

食 品 名	食べられない人	率 (%)	代 替 食
牛 乳	3 名	3	コーヒー・紅茶・ジュース
納 豆	11 名	12	卵料理
パ ン	9 名	10	ごはん、粥
麺 類	20 名	22	ごはん、粥
刺 身	3 名	3	甘塩鮭
鮭、鯖	10 名	11	甘塩鮭、卵料理
肉類	3 名	3	卵類、魚缶類
カレー	4 名	4	肉じゃが
トマト	1 名	1	じゃがいも、アスパラ等
さつま芋	0 名	0	じゃがいも
ヨーグルト	1 名	1	牛乳、ジュース類
ウナギ	0 名	0	甘塩鮭
グレープフ ルーツ	7 名	8	果物缶
梅干し	6 名	7	塩分制限の為なし
卵	1 名	1	甘塩鮭

※ A B、C棟入居者の平均年齢は男 83 歳、女 86 歳と共に 80 歳を超え、それに伴い副菜の形態も常食が 17 名、一口大が 14 名、きざみが 7 名、極きざみが 33 名、ミキサー食 16 名と約 7 割の方達は料理の形態を崩した食事での対応となっている。

認知症の進行と平行し BMI18.5 以下の方が増加の一途をたどっている。高齢にともない認知症も進行しており、ミキサー食の増加、嗜好面意思表示の低下、味覚の鈍化も顕著になっている。反面、偏食が是正され栄養素バランスが向上している。しかし、咀嚼、嚥下低下のため摂取量の低下による必要エネルギー量の確保が困難である。一方で、少人数だが肥満傾向の体重増加の予防、機能低下を予防する為リハビリや体操なども積極的に取り組んだ。さらに誤嚥の為、主食の麺類等が摂取困難のため禁止食となるケースが増加傾向を示し食事メニューの選択幅が減少している。また医薬品の関係で一定の食材が禁止になる場合も多くなってきており納豆やグレープフルーツなどが禁止となる人数も増加傾向にある。

行事食の状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

行 事	月 日	献 立 内 容
花見	4 月 7 日	お汁粉
創立記念日	5 月 12 日	紅白饅頭 昼食：ご飯、すまし汁、お刺身、煮物、あんみつ
あやめ見物	6 月上旬	袖ヶ浦公園にて：アイス
夏祭り	7 月 9 日	A 棟 2 階 チジミ、かき氷、ソース煎餅、すいか
	7 月 18 日	A 棟 3 階 焼きそば、かき氷、あんみつ、すいか
	7 月 16 日	B 棟 じゃがバター、お好焼き、ジュース、駄菓子
	7 月 23 日 7 月 28 日	C 棟 2 階 わた飴、かき氷、お好み焼、焼そば C 棟 1 階 お好み焼、焼そば、焼鳥、 フランクフルト、かき氷
敬老会	9 月 24 日	昼食：赤飯、天ぷら盛合せ、茶碗蒸し、ほうれん草 の胡麻和え、お吸い物 A 棟 和菓子、芋ようかん、果物とゼリー盛り合わせ、お 煎餅、駄菓子、チョコレート、お茶
	9 月 9 日 9 月 18 日	C 棟 1 階 C 棟 2 階 昼食：松花堂弁当、お吸い物、和菓子(ねりきり)
	9 月 17 日	B 棟 和菓子、洋菓子(ムース)、お煎餅、駄菓子、お茶
お彼岸	9 月 23 日	おはぎ(代替食：お汁粉)
クリスマス 忘年会	12 月 15 日	C 棟 1 階 昼食：ご飯・味噌汁・親子煮・ひじきと大豆の煮付・ ゼリー おやつ：クリスマスケーキ
	12 月 17 日	A 棟 2 階、 A 棟 3 階、 B 棟 C 棟 1 階 昼食：オムライス・スープ・ツナ和え・ゼリー おやつ： クリスマスケーキ
年越しそば	12 月 31 日	昼食：年越しそば、えびしんじょう、果物缶

お正月	1月1日	昼食：赤飯、清汁、おせち盛り合わせ、 茶碗蒸し、果物缶 ※三箇日は各階に温州ミカン1箱を配布 甘酒、葛餅風、どらやき、和菓子、お汁粉、玄米茶
七草粥	1月7日	昼食：七草粥、清汁、鮭ちゃんちゃん焼、煮物
節分	2月3日	C棟 1F、C棟 2F 節分甘納豆、
	2月4日	A棟、B棟 節分甘納豆、恵方巻風お菓子
ひな祭り	3月3日	昼食：ちらし寿司、清汁、がんも炊き合せ、 あんみつ A・B・C棟 甘酒
お彼岸	3月21日	おはぎ（代替食：お汁粉）
誕生日会	AB棟：月毎に設定 C棟：毎月第4木 曜日	ケーキ、お茶

VII. 健康管理

特別養護老人ホームサニーヒル 入院者個別状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	氏 名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	M K	29.5.8	29.5.20	13	ヘルニア
2	E Y	29.6.26	29.7.12	17	蜂窩織炎
3	M K	29.8.19	29.9.16	28	肺炎
4	M K	29.9.20	29.10.11	21	肺炎
5	K T	29.10.2	29.10.10	9	尿路感染
6	K H	29.12.15	29.12.21	7	肝機能低下
29年度延べ入院者数 23人 述べ入院日数 352日間					

特別養護老人ホームサニーヒル 入所者の疾患状況

平成30年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	3	20	23
	心疾患	0	4	4
呼吸器系	気管支喘息 他	0	1	1
中枢神経系	脳梗塞	0	7	7
	パーキンソン病	0	1	1
運動器系	脊髄変形症	0	1	1
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	3	3
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	2	3
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	0	3	3
内分泌系	糖尿病	2	3	5
泌尿器系	前立腺肥大症	0	0	0
	腎不全	0	2	2
眼科系	失明	1	0	1
	白内障	0	0	0
合 計		7	47	54

※合併症を含む

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入院者個別状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日

	氏 名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	M R	29.6.3	29.6.17	15	肺炎
2	N N	29.8.24	29.9.16	24	右腰盤筋炎症
3	A Y	29.8.30	29.9.3	15	脳梗塞
4	I S	29.12.20	29.12.27	8	肺炎
5	S T	30.2.13	30.3.3	19	肺炎
6	E K	30.2.17	30.3.3	15	肺炎
29年度延べ入院者数 9人、 延べ入院日数 117日					

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入所者の疾患状況

平成30年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	4	10	14
	心疾患	2	7	9
呼吸器系	気管支喘息 他	5	0	5
中枢神経系	脳梗塞	2	5	7
	パーキンソン病	0	0	0
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	3	3	6
消化器系	急性・慢性胃腸炎	2	1	3
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	2	3	5
内分泌系	糖尿病	2	5	7
泌尿器系	前立腺肥大症	4	0	4
	腎不全	1	1	2
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	0	1	1
合 計		27	36	63

※合併症を含む

VIII. 施設実習及び地域交流

介護実習等施設受入れ実績

施設実習生等の受入れについては、地域福祉の観点から積極的に受け入れている。
年間を通じた実習生の延べ人数は下表に示す通り、専門学校・短期大学では 0 日、ヘルパー養成機関 6 日、体験学習 22 日である。

昨年度よりも更に学生及びヘルパー養成施設共受け入れ人数が激減したが、その要因としては、25 年度より介護職員初任者研修制度（旧ヘルパー 2 級）が導入され施設実習の義務化されなくなった事と、昨今の景気回復のあおりを受け介護現場への就業を望んでいる人が減少している為であると推察される。

福祉短大・専門学校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
植草学園短期大学	0 名（2 名）	0 日（17 日）
京葉介護専門学校	0 名（2 名）	0 日（28 日）
東京福祉専門学校	0 名（0 名）	0 日（0 日）
計	0 名（2 名）	0 日（45 日）

ヘルパー養成施設	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
ニチイ学館	0 名（0 名）	0 日（0 日）
三幸福祉カレッジ	6 名（8 名）	6 日（12 日）
計	6 名（6 名）	6 日（12 日）

介護体験	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
日本経営協会（県新採職員研修）	22 名（24 名）	22 日（24 日）
計	22 名（24 名）	22 日（24 日）

地域ボランティア受入れ実績

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	計
延べ人数	28 人	27 人	27 人	29 人	19 人	25 人	155 人
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	23 人	22 人	20 人	0 人	0 人	0 人	65 人

年間受入れ延べ人数	220 人
-----------	-------

※前年度実績 253 人

クラブ活動状況

クラブ名	1 回あたりの参加人数			指 導 者 名	開 催 状 況
	男 性	女 性	合 計		
生け花クラブ	0人	5人	5人	鈴木 江美子	月 1 回
書道クラブ	10人	20人	30人	鈴木 喜子・河野 友子	月 2 回
朗読クラブ	8人	30人	38人	ボランティア	月 1 回
歌クラブ	8人	30人	38人	ボランティア	月 1 回

IX. 行事運営等活動及び保守整備状況

年間行事運営活動実績一覧

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
4月	リハビリテーション (毎週日曜日) 入所者定期検診 (春季) (年1回実施) ※血圧測定、 健康相談随時 職員(直接処遇) 定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	お花見 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 栄養士研修会 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 君津木更津認知症対策連絡協議会
5月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員(直接処遇) 定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 キューピクル定期点検	端午の節句 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ 創立記念日	給食会議 生活支援会議 ケース会議 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会
6月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 冷暖房切替 消防設備点検 地下貯蔵タンク清掃	あやめ見物 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会
7月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	七夕会 夏祭り 誕生会 久保田保育所来訪 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	全体会議 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 給食施設管理者従事者研修会 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
8 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 給食会議 経営委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会
9 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 職員定期検診	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	敬老会 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 ケアマネジメント研修会 経営委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 指導監査
10 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員定期検診 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	運動会 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 市原市ケアマネ連絡協議会 ケアマネジメント研修会 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 君津木更津認知症対策連絡協議会
11 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ 焼き芋	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ケアマネ現任研修 ヒヤリハット・事故報告委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
12月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	忘年会 クリスマス会 久保田保育所来訪 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会
1月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 消防設備点検 給水施設点検 避難訓練	初詣 新年会 鏡開き 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 市原市ケアマネ連絡協議会 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営委員会 感染症対策研修 介護認定審査会委員研修
2月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	節分 誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議、給食委員会 栄養士協議会研修 給食施設管理者従事者研修 袖ヶ浦市ケアマネ連絡協議会 市原市ケアマネ連絡協議会 介護認定調査委員現任研修 ヒヤリハット・事故報告委員会
3月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	雛祭り 誕生会 お茶会 生け花クラブ 朗読クラブ 書道クラブ 歌クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 君津郡市老人福祉施設連絡協議会

設備機器導入ならびに保守整備状況一覧

年 月	件 名	内 容
2 9 . 5	・ A棟雨漏り工事	・ 利用者が安全に生活する為
2 9 . 6	・ A棟2階の空調工事	・ 利用者の健全な生活の為
3 0 . 1	・ 送迎車両の入れ替え	・ 老朽化した車両を更新し、送迎の円滑化を図る